



インターネットでの情報提供	
提供予定日	3月19日(水)

平成26年3月18日(火)		県政記者クラブ配布資料	
担当課	担当係	担当者	電話番号
畜産課	衛生防疫係	溝口 博史	内線 2873 直通 058-272-8446
地域医療推進課 総合療育推進室	総合療育推進係	山田 育康	内線 2628 直通 058-272-8279

「家畜衛生に係る教育及び防疫等の連携」及び「障がい児者医療学寄附講座」に関する県と岐阜大学との協定締結について

県と岐阜大学は、県における家畜防疫体制の強化や、障がい児者医療の向上を目的に、「家畜衛生に係る教育及び防疫等の連携に関する協定」及び「障がい児者医療学寄附講座の設置に関する協定」を締結します。

ついで、下記のとおり協定締結式を行いますのでお知らせします。

記

- 1 日 時 平成26年3月20日(木) 14:00~14:20
 - 2 場 所 県庁4階 第1応接室
 - 3 出 席 者 岐阜大学学長 もり ひでき 森 秀樹
岐阜県知事 ふるた はじめ 古田 肇
 - 4 内 容 (1) 協定概要の説明
「家畜衛生に係る教育及び防疫等の連携に関する協定」 ひらく たかよし 平工 孝義 県農政部長
「障がい児者医療学寄附講座の設置に関する協定」 かわいで たつやす 川出 達恭 県健康福祉部長
(2) 協定書署名・交換
(3) 知事あいさつ
(4) 岐阜大学学長あいさつ
 - 5 質疑応答 協定締結式終了後、引き続き第1応接室にて担当課が対応します。
- * 協定の概要 裏面参照

【家畜衛生に係る教育及び防疫等の連携に関する協定】

○協定概要について

口蹄疫や高病原性鳥インフルエンザ等の悪性家畜伝染病の発生を予防し、まん延防止など防疫対策を強化するには、家畜保健衛生所の機能向上と家畜防疫等を担う産業動物獣医師の育成・確保が喫緊の課題となっている。

このため、中部地方で唯一獣医学課程を有する岐阜大学と、家畜衛生の教育・学術研究及び家畜の防疫・保健衛生対策について連携と交流を図り、家畜防疫体制の強化を図る。

これらを効果的に実施するため、岐阜県中央家畜保健衛生所を学官連携の拠点施設と位置付けて岐阜大学敷地内に整備する。*

- ・工期：平成26～28年度（平成26年度は造成工事、平成27年度から建築工事）
- ・事業費：約14億円

※：国立大学敷地内に家畜保健衛生所を設置することは全国初（公立大学の大阪府立大学内に大阪府家畜保健衛生所が設置されているのみ）。

【障がい児者医療学寄附講座の設置に関する協定】

○協定概要について

医療的ケアを必要とする重症心身障がい児者や、自閉症などの発達障がい児者が全国的にも増加する中で、診療を行う医師の不足が大きな課題となっています。

このため、障がい児者医療に携わる医師の育成や、障がい児者医療の在り方についての研究を目的として、県内唯一の医師養成機関である岐阜大学（医学系研究科）に、「障がい児者医療学寄附講座」を開設します。

- ・寄附講座の期間：平成26年4月1日～平成29年3月31日（3年間）
- ・寄附金額：年間2,500万円（3年間で7,500万円）

○参 考

「障がい児者医療」をテーマとする寄附講座の設置としては、熊本大学、名古屋大学に続き全国3例目となります。

<熊本大学>

- ・寄附講座名：重症心身障がい学寄附講座（寄附者：熊本県）
- ・寄附講座の期間：平成22年4月1日～平成28年3月31日（6年間）
- ・寄附金額：H22～25年度 2,500万円、H26～H27年度 2,600万円（計1億5,200万円）

<名古屋大学>

- ・寄附講座名：障害児（者）医療学講座（寄附者：愛知県）
- ・寄附講座の期間：平成23年11月1日～平成28年3月31日（4年5ヶ月）
- ・寄附金額：H23年度 1,250万円、H24～H27年度 3,000万円（計1億3,250万円）

○寄附講座とは

外部（行政、企業等）からの寄附金をもとに、大学や研究機関が講座を開設して、人材育成や調査研究などの活動を行うものです。